



おばま

市議会だより

No. 139

3月定例会の概要 P2
平成26年度当初予算可決 P4
市政を問う！一般質問 P8

発行 小浜市議会
編集 広報委員会
発行日 平成26年4月25日

〒917-8585
福井県小浜市大手町6番3号
TEL 0770・53・1111(代表)
0770・64・6035(直通)
FAX 0770・52・0400
✉ gikai@city.obama.lg.jp

3月定例会の概要

平成26年第1回定例会
が2月21日から3月24日
まで、31日間の会期で行
われました。今定例会で
は、平成26年度の当初予
算が慎重に審議され、全
会計原案どおり可決しま
した。

その他、3月補正予算
や4件の陳情などの審議
を行いました。主な内容
については次のとおりで
す。



主な条例

◆小浜市企業職員の給与
の種類および基準に関
する条例の全部改正に
ついて
賛成全員で可決

◆小浜市防災行政無線施
設の設置および管理に
関する条例の制定につ
いて
賛成全員で可決

陳情

◆政府に米の需給と価格
に責任をもつ米政策の
確立を求める意見書提
出についての陳情
(継続審査分)
賛成少数で不採択

◆みなし寡婦控除導入に
関する要望書
賛成少数で不採択

◆原発の再審査を慎重に
行うよう求める意見書
の提出を求める陳情
賛成少数で不採択

◆TPP交渉並びに米政
策に関する要請
継続審査

意見書

◆原子力防災対策の抜本
的見直しと安全・安心
の確保を求める意見書
賛成全員で可決

人事案件

◆人権擁護委員の推薦に
つき意見を求めること
について(古谷活や氏)
賛成全員で同意

委員の変更

◆議会運営委員会
藤田 善平 議員
西本 清司 議員



【採決表示ボタン】

ホームページ を見よう！

小浜市議会のホーム
ページには、採決結果
や次回定例会の日程、
本会議の動画配信(約
2週間程度で視聴でき
ます)などさまざま
な情報が掲載され
ています。



平成26年第1回定例会採決結果

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成25年度小浜市一般会計補正予算(第7号)
	平成25年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	平成25年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	平成25年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	平成25年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
	平成25年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
	平成25年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
	平成25年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第3号)
	平成25年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)
	平成25年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)
	平成26年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算
	平成26年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算
	平成26年度小浜市介護保険事業特別会計予算
平成26年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算	
条例	小浜市企業職員の給与の種類および基準に関する条例の全部改正について
	小浜市防災行政無線施設の設置および管理に関する条例の制定について
	小浜市公民館設置条例の一部改正について
	小浜市文化財保護条例の一部改正について
その他	辺地の総合整備計画の変更について(熊野地係)
	辺地の総合整備計画の変更について(加茂地係)
	道の駅 若狭おばまの指定管理者の指定について
	小浜市道路線の認定について
	平成25年度小浜市水道事業会計資本金の額の減少について
意見書	原子力防災対策の抜本的見直しと安全・安心の確保を求める意見書
人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(古谷活や氏)

賛否が分かれた議案等

項目	件名	採決結果	藤田	西本	小澤	今井	能登	松崎	池田	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	山本	賛成	反対
			靖人	清司	長純	伸治	恵子	主郎	英之	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治守	益弘		
予算	平成25年度小浜市一般会計補正予算(第8号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
	平成26年度小浜市一般会計予算	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	14	2
	平成26年度小浜市簡易水道事業特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	平成26年度小浜市下水道事業特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	平成26年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	平成26年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	平成26年度小浜市水道事業会計予算	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	14	2
陳情	政府に米の需給と価格に責任をもつ米政策の確立を求める意見書提出についての陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	14	
	みなし寡婦控除導入に関する要望書	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	5	11	
	原発の再審査を慎重に行うよう求める意見書の提出を求める陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	14	

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
池尾正彦議員は議長のため採決には加わっておりません。

【可決した平成26年度当初予算】

会計名	平成26年度	平成25年度	増減率	
一般会計	147億7,800万円	148億9,500万円	▲0.8%	
特別会計	90億3,100万円	88億3,019万円	2.3%	
内訳	国民健康保険	32億4,418万円	32億3,432万円	0.3%
	後期高齢者医療	3億5,286万円	3億5,162万円	0.4%
	介護保険	31億2,180万円	29億8,532万円	4.6%
	簡易水道	9,214万円	1億211万円	▲9.8%
	下水道	17億1,120万円	16億6,317万円	2.9%
	農業集落排水	4億5,497万円	4億4,275万円	2.8%
	漁業集落環境整備	5,382万円	5,088万円	5.8%
	加斗財産区	3万円	2万円	50.0%
企業会計(水道)	8億7,158万円	9億1,370万円	▲4.6%	
合計	246億8,058万円	246億3,888万円	0.2%	

【可決した平成25年度補正予算】

会計名	既決予算額	3月補正額	合計
一般会計	176億3,431万円	▲4億3,551万円	171億9,880万円
特別会計	88億8,333万円	1億238万円	89億8,571万円
企業会計	9億1,704万円	▲8,642万円	8億3,062万円

総額 246億8,058万円 平成26年度当初予算

原案どおり可決



**本年度はこのような
新規事業があります！**

平成26年度の当初予算案を予算決算常任委員会で慎重に審議し、全会計とも原案どおり可決しました。平成26年度は、舞鶴若狭自動車道の全線開通を見据えた賑わい創出を推進するための事業などの新規事業や市民協働のまちづくりをさらに進める予算となっております。

※ () は前年度比較

小浜一敦賀間 全線開通！

「感動おばま」おもてなし充実事業 934万円
観光客に旅行先の目的地として選択していただけるよう、滞在型観光メニューを充実させるなど、観光おもてなし基盤を整備する。

観光誘客エリア拡大魅力発信強化事業 478万円
新たな誘客市場として期待できる東海・中京エリアや北陸エリアに向けて集中的に観光PR活動を行う。

遠敷の町並み保存！

遠敷地区伝統的民家群保存活用事業 370万円
旧丹後街道沿いの歴史的景観が残されている遠敷地区について家屋等の改修を助成。

赤ちゃんに絵本を読んであげよう！

ブックスタート事業 30万円
6カ月健診の参加者におすすめ絵本リスト等の入った「ブックスタートパック」をプレゼントする。

婚活を応援！

小浜市I(愛)ターン事業 137万円
県外から女性を招き、小浜市の観光面のPRも織り交ぜた出会いの場を提供するイベントの実施。

小浜で国体！

福井しあわせ元気国体準備事業 2,227万円
平成30年開催の第73回福井しあわせ元気国体の開催に向けて準備を行う。

薬用作物の特産化！

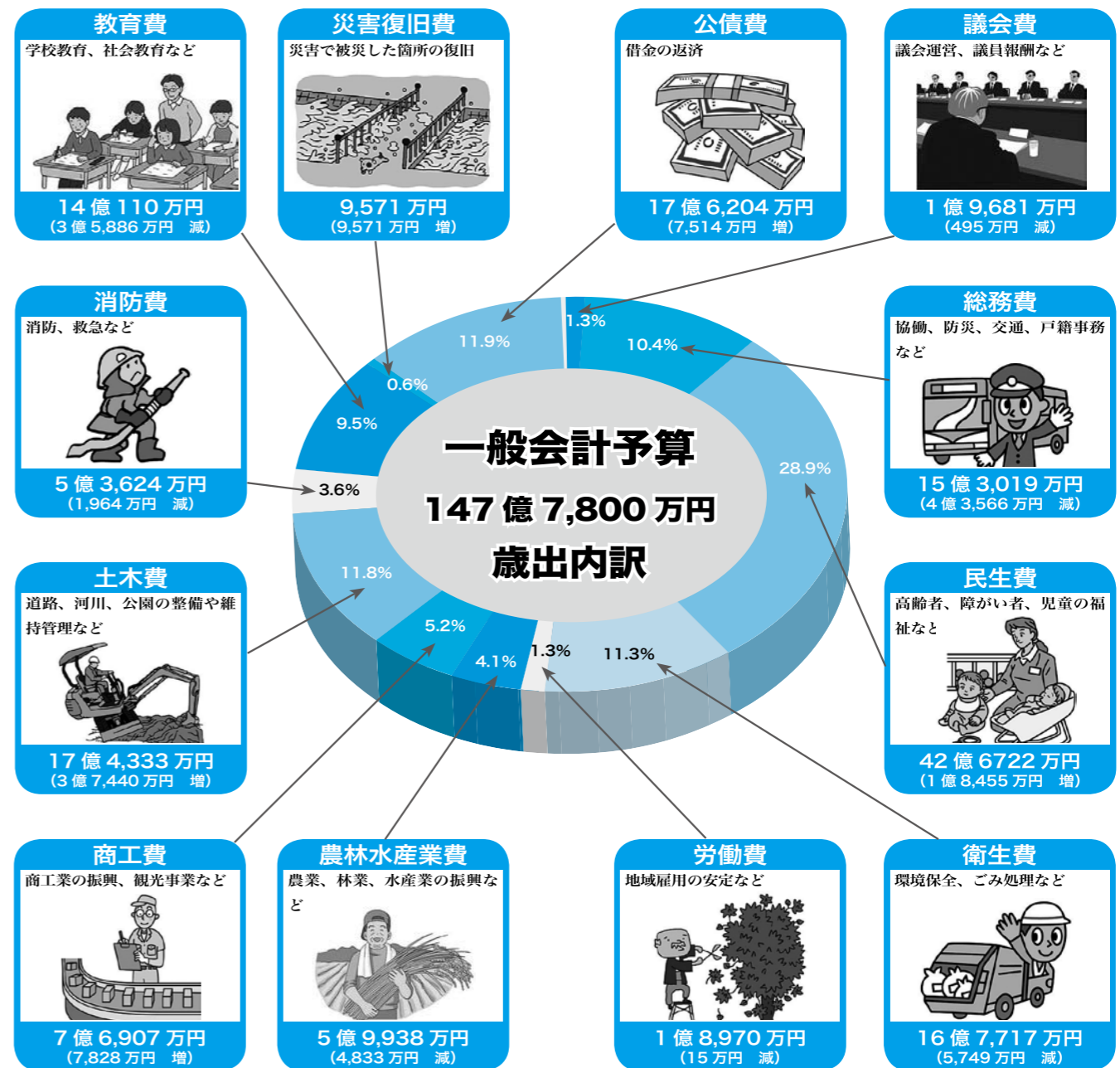
薬用作物産地化推進事業 50万円
耕作放棄地の解消や高齢者でも栽培可能といった効果が期待できる薬用作物の産地化を検討するため、品種の選定や薬草セミナーを受講する。

健康管理センターの整備！

保健・福祉サービスの拠点施設整備事業 1,425万円
健康管理センターの老朽化に伴い、健康づくりと介護予防を併せた新たな施設について、基本計画の策定と民間活力の導入調査を行う。

公立、私立の幼稚園格差を是正！

幼稚園就園奨励費補助事業 563万円
公立、私立幼稚園間の保護者負担に格差があるため、私立幼稚園の保護者の所得に応じて一定額を助成する。



委員会議案等審査

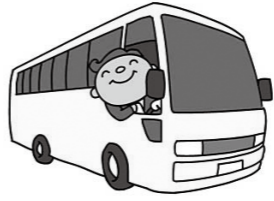
予算決算常任委員会

●当初予算

地域生活路線バス運行対策事業

【問】あいあいバスの利用状況、収入は。

【答】収支比率は、12割ぐらいであるが、これが10割を切る状況になると深刻になると考えている。



琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進事業

【問】滋賀県の認識は。

【答】両県の担当者が年2回以上継続して協議している。滋賀交通ビジョンの中では、北陸とのア

クセスの充実ということとで位置付けされており、今後も事務レベルの意見交換を継続していく。

在宅医療・介護連携推進事業

【問】医師、看護師、介護職員が非常に足りない現状について、どのように考えているのか。

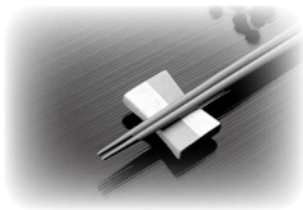
【答】在宅ケアを進めていかざるを得ない状況で、県とともに、医師会との協議の機会を多く持ち、地域包括支援センターの中にコーディネーターを設置しながらこの事業を進めていきたい。

若狭塗箸活性化(ミラノ博参加) 支援事業補助金

【問】若狭塗箸協同組合への補助金となっているが組織の加入業者数、また輸出額をどれだけ伸ばすのか、目標等はどうか。

【答】組合未加入の業者には市内では大手といわれるところも数社あり、全業者をまとめることについて難しい点もあると認識している。若狭塗箸の輸出額等については把握していないが、27年のミラノ博に参加する方向で国にも認めてもらっていること認識しており、この機会にぜひ若狭塗箸を世界に発信できるように努めたい。

【意見】博覧会へただ参加しただけに終わらず、今後組合も含めてしっかりとポリシーを持ってやってもらいたい。



まちの駅測量調査設計業務

【意見】地質調査や旭座新築工事設計業務等については、無駄のないよう十分精査して執行してほしい。



【まちの駅建設予定地】

農業集落排水事業特別会計繰出金

【問】厳しい状況が続いていると認識しているが、今後の繰出金の状況は。

【答】起債の償還をしていかなければならず、基金が底をつくことになれば料金を見直しするか、一般会計からの繰入金を増額するかどちらかしか方法は見当たらず、しかも基金残額の減少は著しい。

総務民生常任委員会

◆議案第22号 小浜市防

災行政無線施設の設置および管理に関する条例の制定について

【問】従来と同じ機能なのか。

【答】同じで4月から運用可能だが、新区長に説明するので、現在の音声告知と併用となる。

【意見】全戸配布の受信機の作動確認について、市として確実にやってほしい。

産業教育常任委員会

◆平成25年陳情第19号

政府に米の需給と価格に責任をもつ米政策の確立を求める意見書提出についての陳情

【意見】国の責任のもと農業の施策転換が進行中であり、静観すべき。



原子力発電所安全対策特別委員会

◆陳情第6号 原発の再

審査を慎重に行うよう求める意見書の提出を求める陳情

【意見】原子力発電所の再稼働を慎重にということとは理解できる部分もあるが、現在、原子力規制委員会は福島事故を教訓に、新規制基準を定めて取り組んでいる最中であり、現時点では静観すべきである。



◆陳情第4号 みなし寡婦控除導入に関する要望書

【意見】最高裁では憲法違反との判決だが政府として法律改正をしないとの態度。政府の対応を見守る。家族制度の見直しも必要。

委員会活動

議会運営委員会

行政視察

◆宮城県岩沼市議会

議会基本条例制定後の取り組みと東日本大震災からの復興に向けた議会の取り組み

岩沼市議会では、平成22年4月に議会基本条例を制定しましたが、条例の見直しが進められています。その具体的な経緯や議会改革の取り組みについて研修しました。

また、同市は東日本大震災で沿岸部の地域では多くの尊い命が奪われるなど甚大な被害を受けたことから、現在、「震災復興計画マスタープラン」等を策定して復興に向かわれており、議会としての取り組みについても研修しました。

◆埼玉県飯能市議会 タブレット端末の導入について

飯能市議会では、資料のペーパーレス化、議会内の情報伝達、危機管理上の緊急連絡、政務調査活動、各種資料の閲覧の推進を図るため、全国に先駆けてタブレット端末を導入しており、その運用方法や効果、課題等について研修しました。

産業教育常任委員会 行政視察

◆佐賀県武雄市

図書館指定管理の取り組みと自治体による特産品の通信販売

図書館に指定管理者制度が導入され、民間企業が受託して利用者の増加や満足度の向上が得られた成功例を研修しました。また、自治体が地元の特産品等をインターネット上で販売するなど、SNSを自治体で上手く活用した成功例を研修しました。

◆福岡県八女市

廃校活用の取り組みについて

会議室や料理講習会、CMの撮影など、廃校になった小学校の利用方法を学びました。

総務民生常任委員会 行政視察

◆長野県駒ヶ根市

高齢者の健康づくりと介護予防の取り組み

再生可能エネルギーの取り組み

◆兵庫県豊岡市

総合健康ゾーン整備運営事業
健康増進拠点機能と保健・福祉機能が一体となった拠点施設の整備・運営方法について豊岡市の取り組みを研修しました。

若狭地域に新幹線を

北陸新幹線ルート公表は間近

北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会

新幹線の必要性

◆新幹線が通る自治体の経済効果は絶大(人口増加も見込める)

◆大阪まで30分もかからないので、通勤、通学圏内

◆駅や鉄道施設などに係る固定資産税が毎年数億円が入り、建設負担金は必要だが、それ以上の税収が見込める

若狭ルートは必要

◆近い将来、高い確率で起きるといふ南海トラフ地震を想定して、国土軸の観点から東京―大阪間を日本海に近いルートの方が有利

◆敦賀―大阪間では若狭ルートが最短距離

◆小浜線は並行在来線として扱われず、継続して利用できる



老人クラブ連合会・連合婦人会との意見交換会の様子(2月14日)

一般質問

【問①】本市における非正規職員割合は、46%

【問②】本市における非正規職員割合は、46%

介護サービスの要支援外しは許せない！

【問①】本市における非正規職員割合は、46%

【問②】本市における非正規職員割合は、46%

【問③】本市における非正規職員割合は、46%

【問④】本市における非正規職員割合は、46%

白物家電など不法投棄の実状は？

【問①】不法投棄に対する罰則は？

【問②】本市の不法投棄の実状は？

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

6月定例会の予定

- 6月 6日 (金) 本会議
- 6月 18日 (水) 一般質問
- 6月 19日 (木) 一般質問
- 6月 27日 (金) 本会議

【問①】原発の避難計画について。

【答】避難には、避難ルートや避難手段、スクリーニングの実施場所などの課題がある。今後、国の方針や県の広域避難要綱の改定を踏まえ、実効性のある避難計画を作成する。

小浜市の景気低迷、景気強化対策を！

【問①】文化財（重伝建）の保存と活用について、平成20年から3年かけて文化財に対する基本構想や保存、活用計画が策定された。歴史文化を生かしたまちづくり構想は絵に描いた餅ではなく、実現に向けたアクションプランとしてまちづくりを進めて欲しい。

【問②】改訂された現行の「小浜市元気食育推進計画」における目標と方針に対する考え方について伺う。

【問③】不法投棄の現状と小型家電類の回収について

【問④】県など小型家電への行政の対策の遅れが不法投棄を助長している様だが実態は？

市民サービスの向上となる取り組みを！

【問①】第2期の「小浜市行政経営プラン」における小浜市立図書館管理運営体制の見直し変更について伺う。

【問②】第1期プランにおける取り組み項目としていた図書館の指定管理者制度導入の検討については、行政改革実施委員会、行政改革推進本部会議において、図書館は事業収益が見込みにくい公共サービスであることや酒井家文庫を保管している事情などから、指定管理者制度になじまないとする一定の方向性が出されたところである。しかし、第2期プランにおいては、小さな行政への転換を目指し、指定管理者制度の導入に限らず、業務の一部アウトソーシングといった手法なども含め、広く研究・検討する。

可決した意見書

原子力防災対策の抜本的見直しと安全・安心の確保を求める意見書

原子力発電を含めたエネルギー政策は、社会の安全・安心の確保、エネルギーの安全保障、産業や雇用への影響、地球温暖化問題への対応、経済成長の促進といった広い観点で、最終的には国の責任において決定されるべきものであります。福島第一原子力発電所の事故による甚大な被害は、大飯発電所から20km圏内に全市民が居住している小浜市民に大きな不安を与えております。

本市は現在、市民の安全・安心確保に向け全力で取り組んでいますが、住民避難が実施可能な実効性のある避難計画や道路や移動手段の確保等、一市町では対応できない問題が生じております。つきましては、次の事項について対策を講ずるよう要望します。

- 1 原子力防災対策指針に基づき、原子力防災計画を早急に取りまとめ、実効性のある避難計画となるよう、自治体の地域防災計画の策定等への支援について、きめ細かく対応すること。
- 2 立地市町と同様の安全・安心の確保が必要なことから、国において、一元的な原子力行政の推進を図ること。
- 3 国・県の協力のもと、住民避難が実施可能な道路を早期に整備し、広域避難体制を確立すること。



宮崎治宇蔵 議員



松崎圭一郎 議員



風呂 繁昭 議員



下中 雅之 議員

【問①】小浜市の景気状況と今後の対策について、国の経済対策により景気は緩やかに回復傾向と報道されているが、小浜市の景気感をどう捉えているのか？

【問②】景気強化対策を。市税収入のこの5年間を比べると約2億7000万円減額になっている。法人市民税だけでも約1億円減額、減収の分析は？

【問③】電気料金や消費

小浜市の景気低迷、景気強化対策を！

【問①】前計画である「小浜市食育推進計画」の検証を伺う。

【問②】「キッズ・キッチン」や「地場産学校給食」など、子どもを中心にした教育面においては仕組みが定着するなど、高い成果も認められた。しかしながら、各家庭における食生活のあり方については、市民の健康面への波及効果が明確に表れていないと言えないとの分析結果であった。

【問③】所謂白物家電の不法投棄の状況は？

【問④】不法投棄に対する罰則は？

市民サービスの向上となる取り組みを！

【問①】第2期の「小浜市行政経営プラン」における小浜市立図書館管理運営体制の見直し変更について伺う。

【問②】第1期プランにおける取り組み項目としていた図書館の指定管理者制度導入の検討については、行政改革実施委員会、行政改革推進本部会議において、図書館は事業収益が見込みにくい公共サービスであることや酒井家文庫を保管している事情などから、指定管理者制度になじまないとする一定の方向性が出されたところである。しかし、第2期プランにおいては、小さな行政への転換を目指し、指定管理者制度の導入に限らず、業務の一部アウトソーシングといった手法なども含め、広く研究・検討する。

可決した意見書

原子力防災対策の抜本的見直しと安全・安心の確保を求める意見書

原子力発電を含めたエネルギー政策は、社会の安全・安心の確保、エネルギーの安全保障、産業や雇用への影響、地球温暖化問題への対応、経済成長の促進といった広い観点で、最終的には国の責任において決定されるべきものであります。福島第一原子力発電所の事故による甚大な被害は、大飯発電所から20km圏内に全市民が居住している小浜市民に大きな不安を与えております。

本市は現在、市民の安全・安心確保に向け全力で取り組んでいますが、住民避難が実施可能な実効性のある避難計画や道路や移動手段の確保等、一市町では対応できない問題が生じております。つきましては、次の事項について対策を講ずるよう要望します。

- 1 原子力防災対策指針に基づき、原子力防災計画を早急に取りまとめ、実効性のある避難計画となるよう、自治体の地域防災計画の策定等への支援について、きめ細かく対応すること。
- 2 立地市町と同様の安全・安心の確保が必要なことから、国において、一元的な原子力行政の推進を図ること。
- 3 国・県の協力のもと、住民避難が実施可能な道路を早期に整備し、広域避難体制を確立すること。

今富小学校のガンバリ！

若州今富！こんなプラン考えました！

児童に自分たちの住んでいる地域の現状を見つめてもらい、地域活性化のためのプランを提案する「ふるさと学習推進事業」。今富小学校では平成25年度に取り組み、松崎市長の講義を受けたり、地域を探索したりして今富らしさを生かしたまちづくり構想を提案することができました。今回は児童が考えた提案の一部をご紹介します。



【市長の前で提案】

若州 おもてなしコース

～今富の魅力を知ってもらおう～

- ◆お薬師さん・秀吉お気に入りの鐘コース(多田)
- ◆光かがやく大日如来をめぐるコース(尾崎)
- ◆千手観音 歴史いっぱいコース(野代・生守)
- ◆思いや技を伝承 ふるさと伝統文化コース(府中・和久里)
- ◆火の神・座禅 心感じるコース(湯岡・伏原)

これからもふるさとを誇りに思い
アピールし続けていきたいです
(当時の6年生一同)

今富にあるものを使ってアピール

- ◆一寸ソラマメ入り地藏クッキー
- ◆おいしい「みほとけの水」
- ◆南川河川敷アートでアピール
- ◆田んぼアートでアピール
- ◆「道の駅」から「海の駅」への道路
ヒストリーロードとしての工夫
- ◆伝えよう 和久里壬生狂言



【地藏クッキー】



西津

遠敷

今富

議会報告会を開催します

とき 5月9日(金) 19時～21時
ところ 西津公民館・遠敷公民館・今富公民館
内容 3月定例会の報告、公共交通、
社会保障問題、意見交換会など

地区外の
方でも
参加OK



【広報委員会のメンバー】

(広報委員 三木)

長く厳しい寒さの冬によろやく別れを告げ、気がつけば桜満開の春の真最中です。新入学生や新入社員の初々しさが各地の学校や職場を大いに盛り立ててくれています。皆様方の一挙手一頭足、例え失敗であってもまわりを元気にしてくれます。皆さん頑張ってください。

また、誰もがこの春爛漫を当たり前に迎えられるのではなく、元気で生かして頂いていることに改めて感謝し、また市民の皆様が意見を言いやすい議会を目指していかねばと委員会一同改めて思う次第です。

編集後記